

第2期「総合戦略」 <第2期「総合戦略」の政策体系>

目指すべき将来

将来にわたって
「活力ある地域社会」
の実現

人口減少を和らげる

結婚・出産・子育て
の希望をかなえる

◆ 結婚、妊娠、子供・子育てに温かい社会の実現に向けた取り組みと考える人の割合、50%

魅力を育み、
ひとが集う

○ 地方に住みたい希望の実現

地域の外から稼ぐ力を
高めるとともに、
地域の経済循環を実現する

人口減少に適応した
地域をつくる

「東京圏への一極集中」
の是正

◆ 地方・東京圏の転出入均衡

1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

○ 地域の特性に応じた、生産性が高く、稼ぐ地域の実現

◆ 地方における若者を含めた就業増加数
100万人 (2019年～2024年)

○ 安心して働ける環境の実現

◆ 若い世代(15～34歳)の正社員用労働者等の割合
全ての世代と同水準を維持

○ 地域資源・産業を活かした地域の競争力強化
○ 専門人材の確保・育成

○ 働きやすい魅力的な就業環境と担い手の確保

2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

○ 地方への移住・定着の推進

◆ Uターンによる起業・就業者数、6万人(2019年～2024年)等

○ 地方とのつながりの構築

◆ 「関係人口」の創出・拡大に取り組み、地方公共団体の数
1,000団体

○ 地方移住の推進
○ 若者の修学・就業による地方への定着の推進

○ 関係人口の創出・拡大
○ 地方への資金の流れの創出・拡大

3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

○ 結婚・出産・子育てしやすい環境の整備

◆ 第1子出産前後の女性継続就業率、70%(2025年)等

○ 結婚・出産・子育ての支援
○ 仕事と子育ての両立

○ 地域の実情に応じた取組の推進

4 ひとが集う、安心して暮らすことのできる魅力的な地域をつくる

○ 活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保

◆ 市町村域内人口に対して、居住誘導区域内の人口の占める割合が増加している市町村数、評価対象都市の2/3等

○ 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実
○ 地域資源を活かした個性あふれる地域の形成

○ 安心して暮らすことのできるまちづくり

新しい時代の流れを力にする

○ 地域における Society 5.0 の推進
◆ 未来技術を活用し地域課題を解決改善した地方公共団体の数及びその課題解決改善事例数
600 団体・600 件

○ 地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり
◆ SDGsの達成に向けた取組を行っている市町村の割合60%

多様な人材の活躍を推進する

○ 多様なひとびとの活躍による地方創生の推進
◆ 地域再生法等に基づき指定されているNPO法人等の数、150 団体

◆ 女性の就業率、82.9% 等

◆ :KPIの項目、目標値及び目標年度(目標年度の記載のない項目の目標年度は2024年度)